

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	独自で作成した「暮らしの情報シート」に家族から記入を願い生活習慣等を捉え、月次報告の記載(目標に向けた支援実施内容・モニタリング・評価を記載し、毎月家族に提示報告)。また、既存ソフトの包括的自立支援プログラムのチェック表を活用し、日常生活での気づきや変化を記入している。しかし、利用者の思いや希望、変化の情報等を職員全体で共有支援するものとしては難しく、もっと分かりやすく共有できるアセスメントシートの検討が課題となっていた。	アセスメントシート(書式)を完成し、実用実践できる。	アセスメントは介護計画につながる基本的なツールであることを職員で再度共有。また、見やすく、分かりやすい書式でなければ職員全員での適切な支援に繋がらない。センター方式Cシートの心身の情報(私の心と身体の全体的関連シート・心身の情報(私の姿と気持ちのシート)の活用を外部評価で助言受け検討。早く書式を完成させたい。	6ヶ月
2	26	利用者に目標があるが、職員にも大きな目標もあるはず、年度の目標(テーマ)を立て、それに向かって、職員全員が意識し統一した支援を図りたい。	ユニット毎の目標テーマをつくり掲示できる。	利用者の一人ひとりの役割をみつけ、もう一の我が家、生きがいのある生活支援を目指している。その中から職員がどのように意識し働きかけられるかを全員で考え今年度のテーマにしたい。	3ヶ月
3		日々の生活の中で買い物支援や通院介助その他外出支援を行っている。痛ましい施設事故も聞かれる中、ホームでは起こらない事とせず、専門講習等受け注意自己研鑽に努めたい。	交通事故や怪我を絶対起こさないよう運転技術や乗車介助の(車椅子を含む)講習を図り、事故0を継続できる。	以下を職員会議の中に組み入れ研修等行う。 ・県安全運転会議出席者よりの伝達研修 ・車椅子装着のデモ点検及び昇降の介助仕方 ・ヒヤリハット報告共有(随時)	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。